

広がる『子どもの貧困』

～格差に立ち向かい、子どもの未来を明るくする、地域のネットワークづくり～
日本の子どもたちの約6人に1人が貧困のなかで生きている
世帯の経済格差が広がり続ける中、家庭の経済的な理由で、学習の機会が得られない、きちんとした食事がとれない、そんな子どもたちが増え続けています。



講師
栗林知絵子さん
NPO法人 豊島子どもWAKU
WAKUネットワーク理事長

地域のおせっかいおばさんを自認し、地域の子ども達をサポートするため、池袋プレーパーク、無料学習支援などの活動を地域で積み上げ、2012年NPO発足。子どもの貧困の連鎖を断ち切りたい！と日夜地域で奔走している。自身も2人の男児の母。

地域のおせっかいおばさんが、教育の格差など、貧困の課題を抱えた子供達に寄り添い、地域のさまざまな人や場を巻き込みながら、子供達の学びや暮らしを有機的に支える支援のネットワークを作った！

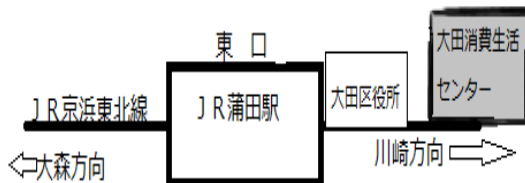
9月のおおた社会福祉士会定例会では、NPO法人 豊島子どもWAKU WAKUネットワーク理事長・栗林知絵子さんをお招きし、その活動について伺います。当日は栗林さんが編集部の一員として活動する、顔が見える生活保護マガジン『雑誌はるまち』の販売も実施します。

日時：H26年9月17日（水）

19:00～20:30

場所：大田区立消費者生活
センター2階 第6会議室

〒144-0052 大田区蒲田五丁目13番26号の101
JR蒲田駅東口から徒歩5分
(大田区役所前から川崎方向に約300メートル)



申込：定員35名

事前申し込みは必要ありません

当日直接会場へお越しください

問い合わせ先：otachikukai@yahoo.co.jp

(担当：塩原 吉田)



顔が見える生活保護マガジン
雑誌『はるまち』の販売会
生活保護受給世帯で育った大人や子ども達のインタビューなど、日本のセーフティネットである生活保護制度を伝える情報誌です。バックナンバーから最新号(4号)までの販売を行います。1冊200円です。